

令和7年度ふじのくに地域・大学コンソーシアム事業計画・予算

1 事業期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日

2 基本方針

静岡県内の高等教育機関（以下「大学」という。）相互の連携を深め、また、行政、産業界、非営利法人等と広範なネットワークを形成し、それぞれの特性を活かした様々な連携事業を積極的に展開する。

3 法人運営

公益社団法人11年目として、引き続き、法人の組織体制や財務管理、会議運営、情報公開など関係法令に基づいた適切な法人運営の確立と強化に努めるとともに、将来像を見据えた事業の評価や見直しの検討を行う。

(1) 会議

会議名	開催予定
定時社員総会	年間1回（6月27日（金）。必要に応じ臨時社員総会を開催）
理事会	年間3回を予定：6月12日（木）、10月、3月中～下旬
学長等連絡会議	6月27日（金）。年1～2回を予定
企画運営委員会	年間3回を予定：5月21日（水）、10月、3月上～中旬

(2) 事務局体制

職員	計9人 【事務局長1、県派遣職員2、静岡県大学グローバル化推進プロジェクトディレクター1、非常勤職員4、実務研修職員1】
場所	静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館（法人の主たる事務所）に設置
事務室	引き続き、県から事務室を賃貸借

4 公益目的事業

地域社会の発展に寄与するため、教育連携、共同研究、地域貢献、国際交流、学生支援、機関交流、施設共有、情報発信の8つのカテゴリ（本議題の末尾に記載）ごとに、きめ細かな個別事業を引き続き展開していく。

(1) 教育連携

① 短期集中単位互換授業【事業費6,800千円（県補助3,000千円）、県委託3,800千円】

対象大学	10の高等教育機関（単位互換協定締結校） 静岡大学、静岡県立大学、常葉大学、静岡理工科大学、沼津工業高等専
------	--

	門学校、静岡産業大学、浜松学院大学、静岡英和学院大学、静岡文化芸術大学、東海大学静岡キャンパス
事業内容	本県の地域資源等に関するテーマにより、短期集中共同授業（フィールドワークを含む）を実施
目的	・ 本県地域の特性等について、大学の正規の科目として学生へ提供することで、地域に根差した人材を育成する。 ・ 扱うテーマにより、学生の調査研究力やプレゼンテーション能力、異なる大学の学生や地域住民との交流を行う中でコミュニケーション能力の向上など、卒業後に社会で活躍するための人間的基礎力の育成を図る。
開催科目	ア 独自型（当コンソーシアムが調整）：10 科目 「お茶」「観光学」「南アルプスの自然」「静岡県の産業イノベーション」「静岡県の産業イノベーションⅡ（県内定着事業）」「静岡県の産業イノベーションⅢ（県内定着事業）」「伊豆の温泉と産業おこし」「魅力ある食と地域づくり」及び「静岡県西部地域の特性と産業」「富士山学概論（R 7 新規）」。 イ 連携型（既存授業を他大学に開放）：3 科目 「演劇論」「農林業」及び「森林生態系からの恵み」
広域単位 互換授業	広域単位互換ネットワーク協議会(*)に(公財)大学コンソーシアム京都が新たに加盟。当コンソーシアムを含めた全国 5 つのコンソーシアムで展開し、相互に科目を提供。 当コンソーシアムが令和 7 年度に提供する科目は「農林業」1 科目。 (*) キャンパス・コンソーシアム函館、(特活)大学コンソーシアム大阪、(一社)教育ネットワーク中国、(公財)大学コンソーシアム京都及び当コンソーシアム

② 小中高大連携推進事業【事業費 2,600 千円（県補助 1,600 千円、県委託 1,000 千円）】

事業内容	ア 大学等の教員による高校への出張講義 取り止める方向で検討 イ 大学生による出張講座（ワークショップなど） 小・中学校、高校への出張講座 ウ 高大連携探究支援事業 令和 6 年度に引き続き、県教育委員会と連携し、高校の探究の授業に対して大学生の派遣を実施
目 的	・ 高校生等に大学の学問や大学生活を知る機会を提供することで、進学意欲や目的意識を高める。 ・ 小・中学校、高校と大学の連携を促進する。
対象地域	大学がない市町を優先する。

③ 西部地域連携事業【委員会事業】

県西部の大学と地域が相互に連携、協力して大学教育の充実や地域の学術振興を図ることを目的として、以下の事業を実施する。

共同授業	西部地域の大学間連携による大学共同授業を実施する。
F D 研修	本事業実施委員会に参画する大学を対象に、西部地域の大学間連携による合同 F D 情報交換会を実施する。

④ 産学官ネットワーク構築事業（R 7 新規）【事業費 1, 941 千円（全額県補助）】

県内高等教育機関が他の高等教育機関並びに地域との接続及び連携を強化し、地域の発展に資する教育・研究を実践するため、「産学官連携推進会議」による具体的な取組の企画検討を行う。また、同会議の議論のための調査検討事業を実施する。

(2) 共同研究

① ふじのくに学検討事業

- ・令和 6 年度に休講した富士山に関する科目を単位互換授業「ふじのくに学（富士山学概論）」として再開する。
- ・新たなふじのくに学の実施について検討していく。

※ 共同研究助成事業（R 5 予算：1, 500 千円）は、県内大学の学術研究への助成。県補助金終了に伴い令和 6 年度は休止したが、何らかの形で復活させることを検討する。

(3) 地域貢献

① ゼミ・研究室等地域貢献推進事業【事業費 4, 800 千円（全額県補助）】※ R 6 予算 5, 300 千円

事業内容	地域課題の解決方策の提言や課題解決のための実践的な研究を行う県内大学のゼミ・研究室及び県内学生により組織された団体に対する助成を行う。
成果発表	学術振興の推進に資するため、「ゼミ・研究室等地域貢献推進事業」の研究成果や他事業の合同発表会（ふじのくに地域・大学フォーラム）を開催する（令和 8 年 2 月を予定）。併せて成果報告書を作成し、情報発信する。

② 県内大学における県内定着促進事業【事業費 1, 271 千円（全額県委託）】※ R 6 予算 1, 876 千円

- ・県内大学が独自に企画する、県内定着のための取組に対し、助成を行う。
- ・助成（R 5 ～ 7）終了後は独自で取組を継続することを条件として採択する。補助限度額は 1 校あたり 400 千円。

③ 産学官連携キャリア教育の推進【事業費 1, 755 千円（全額県委託）】※ R 6 予算 1, 918 千円

- ・大学生 1 ～ 2 年生を対象に、県内企業への関心を高めるため、キャリア教育の一環として、就業体験を伴う研修プログラムを実施する。学生と企業とのマッチング、事前研修会、報告会の開催等を実施するほか、参加者や参加企業の募集に必要なサイトを

運営する。

④ リカレント教育推進事業【事業費 2,289 千円（全額県委託）】※R6 予算 2,619 千円

- ・大学によるモデルプログラムの企画運営に対する支援事業。
- ・助成審査会の運営等を行う。

⑤ 地域・大学連携センター機能構築（窓口機能構築）

- ・地域と大学との連携促進を図るため、地域とのネットワーク形成や情報発信・提供を行うとともに、情報の窓口として、また関係機関をつなぐハブとしての機能を果たしていく。

⑥ 他機関等との連携・協力

ア 経済界との連携強化

- ・平成 30 年に包括連携協定を締結した県内経済 4 団体（経営者協会、商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業団体中央会）や中小企業家同友会、民間団体の準会員・賛助会員と、産業界で活躍する人材の育成や教育・研究の振興、国際交流等での連携を進める。

イ 県実施事業への協力

- ・県の各部局が主催する会議や事業への参加・協力を行う。

ウ 県教育委員会実施事業への協力

- ・県教育委員会が実施する事業や会議への参加・協力を行う。
- ・令和 6 年度に引き続き、高校の探究授業に大学生が協力する取組を実施する。
- ・県教育委員会から中学校教員 1 名を実務研修職員として事務局に受入れ、県教育委員会との連携強化に資する実務研修を行う。

(4) 国際交流

① 留学生支援事業【委員会事業】

事業内容	・静岡 PR・受入促進事業、生活支援事業、育成事業、就職支援事業及び広報・情報発信事業。 ・留学生支援事業実施委員会により実施。 ・静岡県大学グローバル化推進プロジェクトディレクターのもと、事業の推進を図る。
目 的	・大学をはじめとする留学生支援に関係する機関等の連携・協働を図る。 ・県内大学等の国内外における競争力の向上や多文化社会の推進、県内産業の国内外における競争力の向上を図る。
対 象	本事業実施委員会に参画する大学及び団体
実施状況	ア 入口支援 ・留学生ガイドブックの日本語学校、企業等への配布等 ・静岡県大学進学フェア実施 イ 在学中支援

	・交通安全・生活ルール講座や国際交流ツアーの実施 ・JLPT 日本語検定 1 級、J. TEST 準 B 級以上、BJT480 点以上合格受験料助成 ・県行政書士会の相談会、社会人との交流会等
ウ	出口支援 ・県国際交流協会による就職支援講座 ・県国際経済振興会による企業見学会、企業交流会、就職マッチング等
エ	その他 ・当コンソホームページ、SNS での情報発信 ・留学生による SNS での発信

② 静岡県大学グローバル化推進プロジェクト【6,138 千円（県補助）+留学生支援事業実施委員会事業】

(5) ①の事業のほか、以下の国際交流事業を実施する。

- ・ JASSO（日本学生支援機構）の日本留学フェアへの参加
- ・ 海外コーディネーターによる現地（ベトナム、インドネシア、ミャンマー）での静岡留学説明会を開催
- ・ 静岡県大学進学フェア実施（対面、オンライン）

(5) 学生支援

① 海外留学推進事業【事業費 3,000 千円（うち県補助 2,000 千円、企業寄付 1,000 千円）】※R6 予算：3,000 千円

事業内容	未来の静岡県を担うグローバル人材の育成を目指し、本県高等教育機関に在籍する日本人学生で、海外留学を希望する優秀な者に奨学金を給付し、海外留学を支援する。
企画・運営主体	支援企業・参加大学・県により組織する実施委員会において、事業の企画・運営を行う。
実施状況	「ふじのくに留学応援奨学金」を、県補助等を財源に、実施委員会において企画・運営する。

② インターンシップ推進事業【委員会事業】

事業内容	県内におけるインターンシッププログラムの普及拡大、質的向上を目指し、地域人材の育成及び地域産業の振興に寄与するための活動を行う。
企画・運営主体	趣旨に賛同する大学と企業等で構成された委員会（事務局：静岡大学学生支援センター宇賀田教授）により事業を推進する。
実施状況	令和 7 年度からの再始動を予定。4 月以降新規委員・オブザーバーを選任し、審議を経て活動内容を検討していく。

③ 学生組織との連携・支援

- ・ 学生の持つ発想や意欲を活かしていくため、コンソーシアム事業に学生が主体的に参加できる仕組みを作り、地域に貢献する人材の育成や各教育機関の連携事業に貢献することを目的とした学生組織づくりを進める。

(6) 機関交流

① 合同FD・SD研修会事業【自主事業】

事業内容	ア 大学職員の資質向上のため、合同でSD研修会を開催する。 イ 会員大学から希望者を募り、研修のテーマや実施方法等を議論する企画委員会を開催する。 ウ 静岡県障害学生支援関係者会を支援する形としてFD・SD研修を行う（外部資金を活用）。 エ 複数大学の教職員を対象としたFD・SD研修会に係る広報等の協力を行う。
------	---

② プラットフォーム形成推進事業【委員会事業】

- ・ 文部科学省所管の補助金事業である、私立大学等改革総合支援事業「地域社会への貢献（プラットフォーム型）」を推進するために、趣旨に賛同する大学で構成された委員会（幹事校：静岡産業大学）により事業を行う。
- ・ 検討課題である、大学事務の共同実施、経済界との連携、リカレント教育、災害時に備えたBCPの策定、ICT、Eラーニングの活用等に関する検討などを実施する。

(7) 情報発信

・ 広報事業

- ・ 各種事業及び県内大学に関する情報を、FacebookページやX(旧Twitter)、情報誌等により発信するとともに、イベント等に関する報道機関への記者提供を積極的に実施する。
- ・ 県内の大学行事・イベントや、県内の学生・教員向けの事業に対して、後援や広報等での協力を行う。
- ・ 当コンソーシアムのホームページの掲載情報の充実を図るとともに、リニューアルに向けた作業を行う。

(参考) 令和7年度事業等における8事業分類表

事業カテゴリ	事業等
教育連携	・短期集中単位互換授業 ・小中高大連携推進事業 ・西部地域連携共同授業 ・産学官ネットワーク構築事業
共同研究	・共同研究助成事業 ・ふじのくに学検討事業
地域貢献	・ゼミ・研究室等地域貢献推進事業 ・地域・大学連携センター機能構築 ・大学生等県内定着促進事業 ・リカレント教育推進事業
国際交流	・留学生支援事業（交流推進事業） ・国際交流事業（県の短期留学生相互交流事業協力等）
学生支援	・留学生支援事業（滞在サポート・就職支援事業） ・グローバル人材育成事業 ・学生組織への支援
機関交流	・合同FD・SD研修会事業 ・西部地域連携FD研究
施設共有	—
情報発信	・ゼミ・研究室等地域貢献推進事業 （ふじのくに地域・大学フォーラム） ・広報事業（Facebook ページ、公式サイト運営等） ・留学生支援事業（広報発信事業） ・西部地域連携共同広報